

海外子会社のリスクマネジメントの着眼点と対応策 ～贈収賄・カルテルを題材に徹底解説～

◇日時◇ 2016年1月14日(木)13:30～16:30

◇会場◇ 東京・麹町『企業研究会セミナールーム』

◇講師◇ 山下 聖志 氏 柳田国際法律事務所 パートナー弁護士 ニューヨーク州弁護士

東京大学法学部卒。2002年弁護士登録(東京弁護士会)、柳田野村(現 柳田国際)法律事務所入所。2005年より大手証券会社法務部門に出向。2010年米国シガン大学ロースクール修士課程修了。2011年米国ニューヨーク州弁護士登録。2012年より現職。コーポレートガバナンス、国内外の M&A・投資案件、国際商取引、国会内外の不祥事・紛争処理対応、その他企業法務一般を扱う。海外子会社管理等に関する講演や論文「海外子会社のリスクマネジメントの着眼点」(会社法務 A2Z 2015年9月号)、「CFO のための株主総会想定問答 2014」(企業会計 2014年5月・共著)、「社外取締役の義務付け・要件の見直し」(ビジネス法務 2012年3月号)など多数。

開催にあたって

近年、多くの企業が、業績好調を背景に、海外企業の買収や現地子会社の事業拡張を続けています。このように海外事業のウエイトが大きくなると、そのリスクが企業グループ全体に及ぼす影響も大きくなりますが、海外事業に適用される法規制や執行状況、商習慣などは国・地域によっても実に様々で、そのリスクを適切に管理していくことは容易ではありません。

そこで、本講座では、企業グループ全体としてのコーポレートガバナンスを強化する改正会社法の考え方を押さえつつ、「贈収賄」と「カルテル」を題材に、具体的な事例を踏まえて、海外子会社の法務リスクマネジメントの在り方をどのように点検し、また推し進めていくか、その着眼点と対応策を詳しく解説いたします。

- * 申込書にご記入いただいた個人情報は、本研究会に関する確認・連絡および当会主催事業や刊行物のご案内をお送りする際に利用させていただきます。
- * 「セミナーに関するご不明な点につきましては、当会ホームページより [TOP]→[公開セミナー]→[よくあるご質問]をご参照下さい。

FAX. 03-5215-0951 番号のお間違えにご注意下さい。
※当会ホームページからも直接お申込みいただけます。

【受講料】 1名 <税込>

正会員	30,240円 本体価格 28,000円	一般	32,400円 本体価格 30,000円
-----	-------------------------	----	-------------------------

*お二人目からの参加料は、上記金額の半額とさせていただきます。

正会員	15,120円 本体価格 14,000円	一般	16,200円 本体価格 15,000円
-----	-------------------------	----	-------------------------

- ◎お申込み: FAX 又は E-mail、又は当会ホームページでお申込み下さい。後日(開催1週間～10日前まで)に参加券・請求書をお送りいたします。
- * 催行最小人数に満たない場合は、中止させていただくこともございますので、ご了承下さい。
- * 会員企業一覧は当会ホームページでご確認いただけます。(http://www.bri.or.jp)
- * お申込後のキャンセルは原則としてお受けいたしかねますのでご出席できない場合は、代理の方のご出席をお願いいたします。

【申込先】 一般社団法人 企業研究会
〒102-0083 東京都千代田区麹町5-7-2 麹町M-SQUARE ビル2階
TEL.03-5215-3515 担当: 金井/kanai@bri.or.jp

151765-0303	2016.1.14 海外子会社のリスクマネジメントの着眼点と対応策		
会社名			
住所	〒		
部課 役職		フリガナ お名前	
TEL	FAX		
E-mail			
部課 役職		フリガナ お名前	
TEL	FAX		
E-mail			

海外子会社のリスクマネジメントの着眼点と対応策 ～贈収賄・カルテルを題材に徹底解説～

◆ プログラム ◆

■日 時:2016年1月14日(木) 13:30～16:30

■講 師:山下 聖志 氏 柳田国際法律事務所 パートナー弁護士 ニューヨーク州弁護士

-解説-

13:30

1. 海外事業とそのリスクマネジメントの重要性の高まり

- (1) 現在、海外子会社で何が問題となっているのか
- (2) 海外事業の法務リスクマネジメントの「悩み」

2. 改正会社法のグループ内部統制の考え方

～基本の方針を知るために～

- (1) 平成26年改正会社法の内容
- (2) グループ内部統制の考え方(海外子会社管理に求められる水準)

3. 法務・コンプライアンスリスクへの対応(総論)

- (1) 各種リスクへの着眼点
- (2) 各種リスクへの対応策

4. 贈収賄リスクへの対応(各論その1)

- (1) 贈収賄リスクの位置付け
- (2) 具体的な事例と分析
- (3) 贈収賄リスクへの着眼点と対応策(実践的に)

5. カルテルリスクへの対応(各論その2)

- (1) カルテルリスクの位置付け
- (2) 具体的な事例と分析
- (3) カルテルリスクへの着眼点と対応策(実践的に)

6. まとめ

<質疑応答>

16:30